

2月16日(日)  
15:00~17:30  
(14:30開場)

『「国語」から旅立って』(新曜社)、『よい移民』(創元社)刊行記念対談

温又柔(小説家) × 栢木清吾(翻訳家/研究者)

# いくつもの声とともに

## 一書く、訳す、物語る



おん ゆうじゅう  
温 又柔

1980年、台北市生まれ。小説家。3歳から東京在住。法政大学大学院・国際文化専攻修士課程修了。2009年、『好去好来歌』で第33回すばる文学賞佳作を受賞し、作家デビュー。両親はともに台湾人で、日本語、台湾語、中国語の飛び交う家庭に育つ。創作は日本語で行う。著作に、『たった一つの、私のものではない名前 my dear country』(Happa-no-Kofu, 2009年)、『来福の家』(集英社、2011年、のち白水社、2016年)、『真ん中の子どもたち』(集英社、2017年)、『空港時光』(河出書房新社、2018年)、『台湾生まれ 日本語育ち』(白水社、2016年、2018年に増補版刊行)、『「国語」から旅立って』(新曜社「よりみちパン!セ」、2019年)など。



かやのき せいご  
栢木 清吾

1979年、大阪生まれ。翻訳家、研究者。神戸大学国際文化学研究推進センター学術研究員。専門は、移民研究、イギリス(帝国)史、カルチュラル・スタディーズ。訳書にニケシュ・シュクラ(編)『よい移民—現代イギリスを生きる21人の物語』(創元社、2019年)、アロン・S・モーア『「大東亜」を建設する—帝国日本の技術とイデオロギー』(人文書院、2019年、分担訳)など。著作としては「おもてなされている日本社会」『現代用語の基礎知識2020』(自由国民社、2019年)、「差別感情にふれる」『ふれる社会学』(北樹出版、2019年)、「グローバル化・移民・都市」『出来事から学ぶカルチュラル・スタディーズ』(ナカニシヤ出版、2017年)など。

司会：佐藤 静 (大阪樟蔭女子大学准教授)

会場：神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ  
(大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー8階)

参加無料・要申込(定員60名)

申込方法：下記の申込フォームに必要事項をご記入ください。

<https://forms.gle/zC9KCzxMKbAcSiD3A> →



問い合わせ先：gicls-promis@research.kobe-u.ac.jp

主催：神戸大学国際文化学研究推進センター

科研費若手研究(B)「グローバル化におけるケアの分配理論モデルの構築」(代表者：佐藤静)